



2023年11月HIVセンター看護師会

2023年現在、当院にはHIV感染症の患者さんが、100名前後通院されています。当院は拠点病院であり、内科外来の担当看護師3名は、医師・薬剤師・カウンセラー・ソーシャルワーカーなど診療チームで対応しています。その中で中心的役割を果たすのが担当看護師です。

患者さんは通院や治療継続できることが重要で、それを左右するのが生活やメンタルヘルスです。外来を受診された際は面談を行い、患者さんに近い存在として、寄り添ったかわりを心掛けています。患者さんは、家族や周囲の人に病名を伏せていることが多いので、家族＝キーパーソンにはなりません。そのため「告知」に関しては、他の疾患とは違い、配慮が必要となります。

HIV感染症は血液内科の医師が診療しています。患者さんは大半が外来中心ですが、院内の病棟に入院することもあります。「HIV感染症の知識があまりない」「HIVの患者さんに何を、どのように聞いていいかわからない」など、入院病棟や外来で対応する際、困ったことはありませんか。慣れていないと、ついつい構えてしまうこと、ありませんか。そのような時には、担当看護師とコンタクトをとったり、HIVの正しい知識をアップデートしてみてください。



○内科外来担当看護師や医療チームがサポートしてくれます。

疑問質問などお困りのことは、気軽にご相談下さい。

連絡先 内科外来(内線 72200) 宮越、稗田

○入院患者さんがいた場合は、外来担当看護師が掲示板などを活用し、情報発信しています。参考にしてみてください。

○ナースングスキルで「基礎知識」や「HIV看護について」が視聴できます。

HIV看護師会メンバー

香西副看護部長	(看護部管理室)	稼農看護師長	(西7階病棟)
佐々木看護師長	(南2階病棟)	杉山看護師長	(NICU・GCU病棟)
松田看護師長	(北4階病棟)	宮越看護師長	(内科外来)
茶谷副看護師長	(南2階病棟)	稗田看護師	(内科外来)